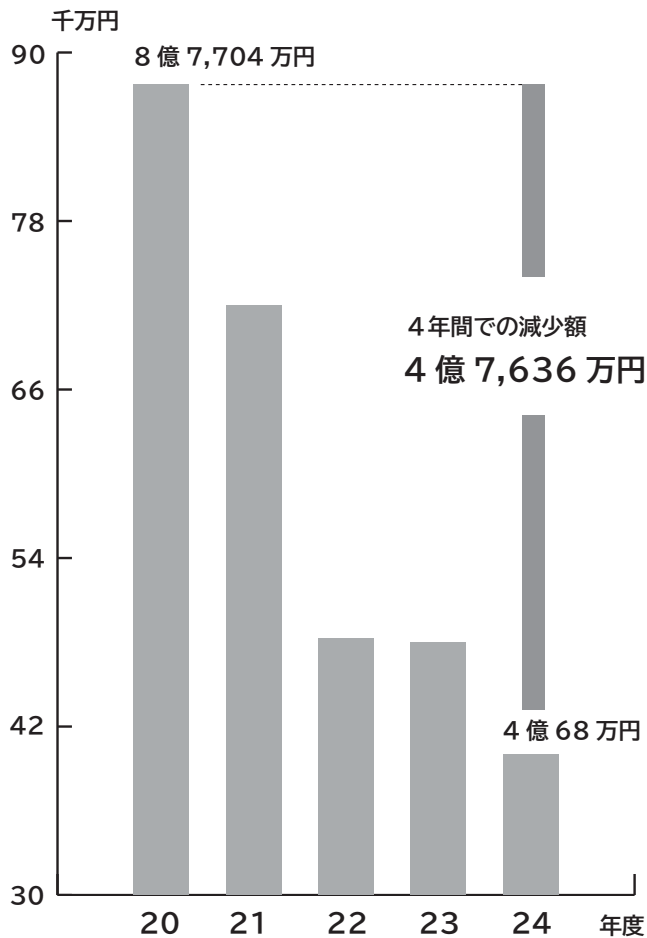


■ 国保の「貯金」にあたる基金と繰越金

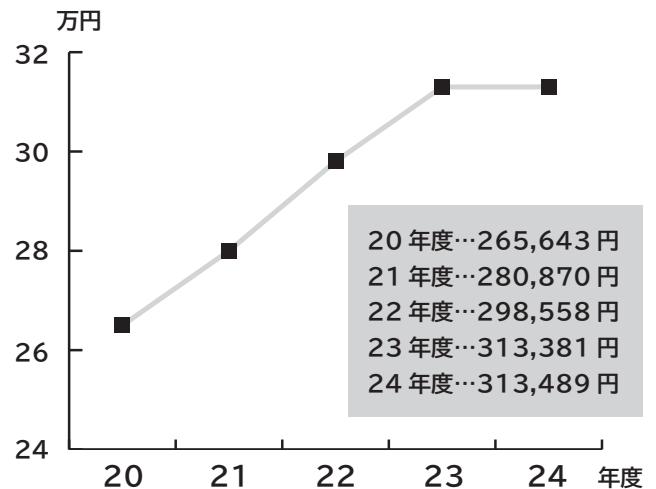
歳入よりも医療費の支払いなどの歳出が上回る場合、前年度からの繰越金や貯金にあたる基金を使います。

この基金は医療費の増加に合わせて減少の一途をたどっています。

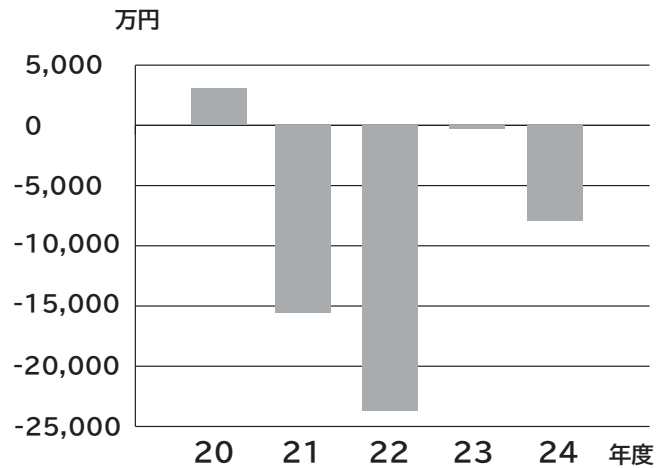


■ 1人あたりの医療費と単年度の収支

● 1人あたりの医療費



● 単年度の収支



国保加入者のご協力が必要

本町の国保財政は、危機的な状況が続いています。平成23年度には、医療費が30億円を超えたことで、このまま医療費が増え続ければ本町の国保財政が破たんする恐れがでてきました。

そこで、平成24年度に保険料の税率を改定し、平成24年度と平成25年度を切り抜けました。ですが、依然として増え続ける医療費で、予断を許さない状況が続いています。

国保の貯金にあたる財政調整基金は、流行性の病気などで医療費が急増した場合に備えるために一定程度確保する必要があります。ですが、この5年間で基金残高は半分以上に減少しており、このままでは、インフルエンザなどの病気が大流行した場合に財政的な対応が難しくなる恐れがあります。

ですので、医療費をできる限り適正化する必要があります。そのためには、国保加入者の協力をいかに得られるかが重要だと考えています。

役場健康づくり推進課
国保年金係
やまだ だい き
山田 大貴 主事